

「臨時増刊号」刊行にあたってのご挨拶

平成23年9月初旬の台風12号による豪雨で、奈良、和歌山、三重の3県では、東京ドームの約80杯分に相当する約1億m³の土砂崩壊が発生、死者・行方不明者84名、倒壊家屋3,200戸という大被害となりました。これにより、多くの箇所では河道が閉塞し、このうち5箇所では大規模な天然ダムが形成され、河道閉塞による二次災害が懸念されるなど、大きな災禍を紀伊半島にもたらしました。

この紀伊半島大水害のうち、天然ダムによる河道閉塞などに対し、(社)日本建設業連合会関西支部は、緊急対応を含め1日でも早い被害の復旧、被災地域の復興に向け、関係機関や地元の皆様のご指導、ご協力を得て、会員各社が災害復旧活動を行ってまいりました。この復旧活動を通じて、改めて安全・安心な社会形成に向けた建設業界の使命を認識

するとともに、自然災害の大きさと脅威、そして災害復旧活動の難しさも痛感いたしました。

そこで、(社)日本建設業連合会関西支部は広報誌「しびる」の臨時増刊号を発刊し、会員各社が被害発生直後から行ってきた各種復旧活動と被害の実態を誌面の許す限り記録することといたしました。

この増刊号が、2011年の紀伊半島大水害の被害の甚大さ、災害復旧活動の緊急性・困難性、自然災害の脅威とその対策の重要性について理解を深めていただくための一助となり、また被災地域の復興計画や、今後の自然災害に備えた具体的対策を考える上で多少なりとも参考になれば、幸いと考えます。

社団法人 日本建設業連合会 関西支部
広報委員長 水野 将



仮排水路工事(赤谷) 24.3.3

CONTENTS

●特別座談会	2	野迫川村 北股地区(奈良県)	13
●復旧レポート		田辺市 熊野地区(和歌山県)	14
五條市 赤谷地区(奈良県)	10	金山谷川 那智勝浦町 井関地区(和歌山県)	15
十津川村 長殿地区(奈良県)	11	相野谷川 南牟婁郡紀宝町 高岡地区(三重県)	16
十津川村 栗平地区(奈良県)	12	●被災MAP及びDATA	17